

# JACIC news

2023  
11月号/No.413

JACIC 一般財団法人日本建設情報総合センター

## ニュースと解説

### buildingSMART国際標準会議、リレストレム参加報告

#### 1. buildingSMART国際標準会議

buildingSMART International (bSI) は、3次元モデルの規格であるIFCを中心とした建築・土木分野の国際標準の開発等を行っている組織です。bSIは、その活動の一環として、年2回、各国支部の持ち回りで、国際標準会議 (International Standards Summit) を開催しています。

今回、9月18日から4日間、bSIとbuildingSMART Norwayの主催でノルウェーのリレストレムで国際標準会議が開催され、635名が参加しました（オンライン開催と併用で、現地参加447名）。

#### 2. インフラ分科会

IFCは、当初、建築分野の規格として開発され2013年にISO16739としてISO規格となりました。同年、bSIはインフラ分科会を設置し、線形モデル、橋梁、道路、港湾・水路、トンネル等の分野のIFC拡張を順次開始、このISO規格化が当面の一つの目標でした。トンネルのIFCは開発が遅れたため、トンネルを除く拡張分野をカバーしたbSIのIFC4.3をISO規格化すべくISOに提案。現在、ISOで最後の投票中で、年末から年始にかけてISO規格となる見込みであることが報告されました。

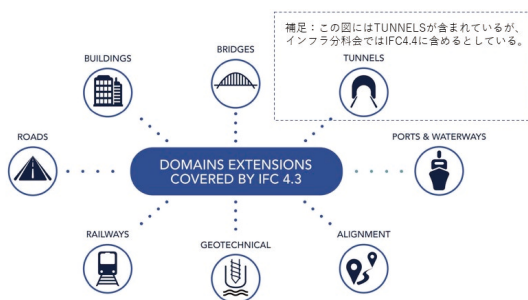


図1 IFC4.3がカバーする拡張分野 (bSI会議資料を加工)

インフラ分科会では、土木分野のIFCがISO規格化することから、その利用推進に重点を置いて取り組んでいます。今回のインフラ分科会では、米国の橋梁分野におけるIFCの活用について報告がありました。

米国では州政府が各州の高速道路を設計・建設・維持管理しているため、米国全州道路交通運輸行政官協会 (AASHTO: American Association of State Highway and Transportation Officials) が統一の技術基準を作成しています。AASHTOでは、州政府から資金を得て、

IFCを活用し、橋梁の設計・製造・建設・維持管理のデータを関係者で交換するための標準 (IDM、MVD、IDS等) を開発しています。

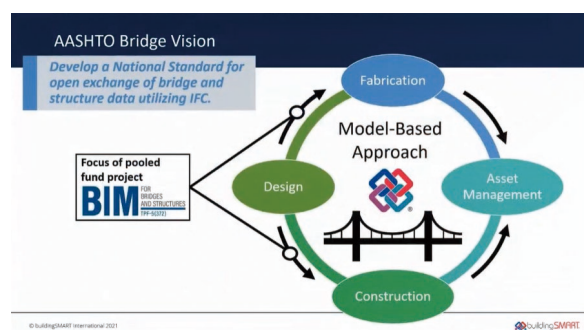


図2 AASHTOの橋梁ビジョン (bSI会議資料より)

#### 3. 海洋分科会

中国の中国交通建設株式有限公司から、海洋分野について、新たな分科会 (Maritime Domain) を設置することが報告されました。

まず、海底トンネルに着手し、その後、人工島・浮体構造物、洋上風力発電等を対象に取り組む計画です。



図3 対象分野の候補 (赤が優先) (bSI会議資料より)

#### 4. おわりに

次回のbSI国際標準会議は、2024年3月12日から15日にスペイン (バレンシア) での開催が予定されています。JACICでは、引き続き国際的な情報を収集し、国内の関係者への情報共有や適切な対応が取れるように活動を進めて参ります。

(建設情報研究所 副所長 明野和彦)

## JACIC からのお知らせ

# JICAの活動に協力 ～JICAベトナム国研修団 来訪～

JACICは国際協力機構JICAからの依頼により、令和5年10月19日（木）ベトナム国からの研修生11名を受け入れ、技術研修に協力しました。なお、JACICは、平成24年11月、平成25年10月、平成27年11月、平成29年2月、令和4年11月、令和5年5月にもベトナム国からの研修団を受け入れています。

### 1. 研修の概要

本研修は、日本国におけるベトナム国に対するODAの一環として、「国際協力機構（JICA）の技術協力プロジェクト」として「公共建設工事における積算制度を改善する能力の向上を目的とした技術協力プロジェクト」として実施しています。令和5年10月11日～25日までの15日間、ベトナム国から研修員が来日し、日本国内の多くの機関の協力を得て研修を受けるものです。本邦研修の内容は、積算体系システム等を含む積算制度全般を対象とした講義及び建設工事現場の視察を中心としております。JACICとしては、「JACICの積算システムについて」というテーマで依頼を受け、令和4年11月、令和5年5月に続き、今回が3回目の実施となりました。

講義の内容は、2人の講師が逐語通訳にて、講義を行い、そののち質疑応答を行いました。

～プログラム～

1. 歓迎挨拶 審議役 三橋 さゆり
2. JACIC事業概要 経営企画部次長 塚本 一三
3. JACICの積算システムについて  
積算システムセンター次長 平石 進
4. 質疑応答
5. 記念品贈呈、集合写真撮影

### 2. 研修員の構成

来日した研修員11名の構成は、以下のとおり

団長 ダム・ドゥック・ビエン

ベトナム国建設省建設経済庁 局長

- ・ベトナム国建設省建設経済庁 1名
- ・建設・都市幹部育成センター 1名
- ・建設経済院 1名
- ・投資・契約課 2名

- ・建設経済コンサルティングセンター 4名
- ・オフィス 1名
- ・建設歩掛・単価課 1名
- ・その他JICA関連 4名



ダム・ドゥック・ビエン団長



研修の様子

### 3. 質疑応答など

研修員からは歩掛や工種の登録方法や仕組み、クラウドを利用した積算システムのセキュリティについてなどの質問がありました。団長からは「JACICの積算システムについて講習いただき大変勉強になった。今回の研修を通じて、ベトナム国に戻り勉強してまいりたい。」とコメントをいただきました。



集合写真

(経営企画部／積算システムセンター)



## 地方便利

## 北陸地方センターの活動

北陸地方センターは、新潟、富山、石川県の北陸3県を担当管内として、JACICが提供している建設関係システムについて、国や地方公共団体等への利用促進及びフォローアップを行っております。

今回は、2023年1月（JACICnews No.404号）以降の主な活動を紹介します。

## ■石川県ICTフェア2023

9月15日、16日の2日間、石川県建設業協会と石川県土木施工管理技士会共催による「石川県ICTフェア2023」が金沢市の県建設総合センターで開催されました。フェアには約100人が参加し、石川県土木部監理課技術管理室担当課長様の石川県におけるICTの取り組みの説明の後、今回、機能改良を進めたコリンズ・テクリスの登録内容確認のオンライン化や的確な建設リサイクルを支援する目的での建設副産物情報交換システムの活用推進に加え、建設生産プロセスを支援するJACICルームを活用した仕事のやり方そのものを変革する必要性について現状の課題と新たな提案について紹介させていただきました。



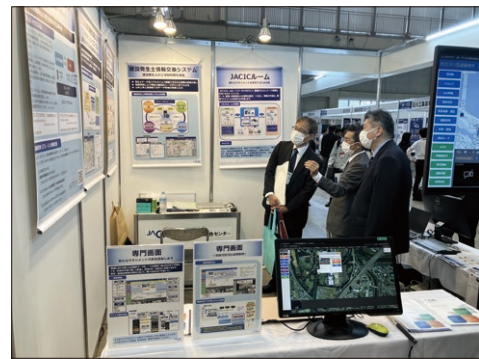
JACIC事業の紹介



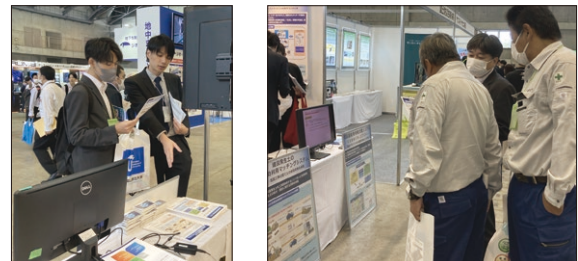
JACIC事業展示ブースの様子

## ■けんせつフェア北陸2023in金沢

10月4日、5日、石川県産業展示館において「インフラDXが明日を変える」をキャッチフレーズに「けんせつフェア北陸2023in金沢」が開催され、JACICもブース展示と展示技術プレゼンテーションを行いました。ブースでは、コリンズ・テクリスや建設副産物情報交換システムの紹介とJACICルームを活用したDX時代の新しい仕事の仕方を紹介させていただきました。また、石川県内の大学、高専生等を対象とした企業説明も併せて行わせていただきました。2日間に渡りたくさんの皆さんにお越しいただき当財団の説明に耳を傾けて下さいましたこと改めて感謝申し上げます。



JACIC展示ブースの様子



建設副産物システムの紹介



JACICルームの紹介

学生への企業説明

当センターでは、随時、各種事業のご説明を行っております。疑問点や個別のご相談などありましたらお気軽にお問い合わせいただきたくお願い申し上げます。

（北陸地方センター長 渡邊 昌彦）

## ■編集・発行 一般財団法人日本建設情報総合センター

〒107-6114 東京都港区赤坂5丁目2番20号 赤坂パークビル14階  
TEL. (03)3505-2981(代表) FAX. (03)3505-0414  
ご意見・お問い合わせ先: <https://www.jacic.or.jp/about/syozai/syozai.html>  
JACICホームページ <https://www.jacic.or.jp/>



編集・構成 日本印刷株  
TEL. (03)5911-8660